

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	楽器レッスン4	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科		コース名	サウンドクリエイターコース		開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位					授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	内田 充			実務経験の有無・職種	有・プロギタリスト		
学習目的							
この科目を受講する学生は、ギターという楽器により強く興味を持ち、ギターを使って様々な楽曲や演奏スタイルに触れることで、ギタリストの視線から作曲・アレンジ力を養っていくことを目的とする。							
到達目標							
ギタリストとして必要な一般的な知識とテクニックを習得すると共に、ジャンルの壁を超えた作曲やアレンジ力も養う。 基本的なフォームからコードヴォイシングの押さえ方、左右の手の機能を把握しパターンを習得していく。 前期は基礎的なフィンガリングを主にコードヴォイシングを学んでいくことを目標とする。 後期はスケール、ソロフレーズ等のメロディーワークを主としたレッスンによりインプロビゼーションの方法を習得することを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	この授業では、チューニングの仕方、コードワークとメロディワーク、簡単なリズムトレーニングなどについて触れて行く。 エレクトリックギターとアコースティックギターの（学生の）それぞれの特性を最大限に打ち出せる技術の習得をする。 ギターパートのアレンジにも触れ、楽曲のスタイルによりどのようなパターンを構築すればいいかを理解できる能力を育成する。						
注意点	この授業では、理由のない遅刻・欠席は認めない。また学生間、講師と学生とのコミュニケーション力向上のために、なるべく自己から発言する機会を増やして行く。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	コードワーク⑤			バレーコード、シンコペーション その1			
2回	コードワーク⑥			バレーコード、シンコペーション その2			
3回	コードワーク⑦			Funk系16ビートなどジャンル感のあるコンピング その1			
4回	コードワーク⑧			Funk系16ビートなどジャンル感のあるコンピング その2			
5回	メロディワーク⑥			コードリフの練習 その1			
6回	メロディワーク⑦			コードリフの練習 その2			
7回	メロディワーク⑧			有名曲のソロフレーズをコピーしてみよう その1			
8回	メロディワーク⑨			有名曲のソロフレーズをコピーしてみよう その2			
9回	メロディワーク⑩			有名曲のソロフレーズをコピーしてみよう その3			
10回	スケール練習③			マイナーペンタトニックスケール応用編（ブルーノート）その1			
11回	スケール練習④			マイナーペンタトニックスケール応用編（ブルーノート）その2			
12回	簡単なインプロビゼーション③			コードトーン、マイナーペンタトニックスケールを用いる その1			
13回	簡単なインプロビゼーション④			コードトーン、マイナーペンタトニックスケールを用いる その2			
14回	簡単なインプロビゼーション⑤			コードトーン、マイナーペンタトニックスケールを用いる その3			
15回	まとめ			全体のまとめ			